

人口減少時代に対応した大邱市の政策ビジョン

幸せな市民・・・・・誇らしい大邱



人口減少時代に対応した大邱市の政策ビジョン

- 1 韓国の人口動向及び展望
- 1 大邱の現況
- 大邱市の人口動向及び展望
- ₩ 人口減少時代に対応した大邱市の政策ビジョン



国内外の環境変化



人口変化

少子·高齢化の深刻化 人口減少時代への転換

単身及び多文化世帯の増加



経済変化

経済成長の鈍化及び低成長時代の継続

所得及び消費の二極化

中国などアジア経済の浮上



技術変化

先端技術の発達及び 融・複合化

第4次産業革命時代の展開

超高速交通・無人技術の発達



社会変化

QOLの重視

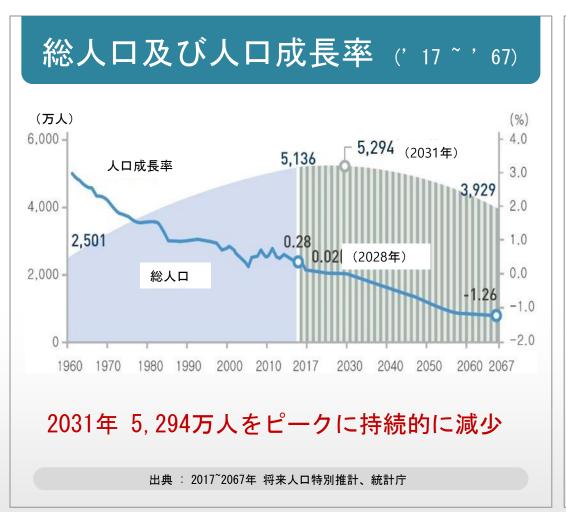
消費者ニーズ形態の多様化

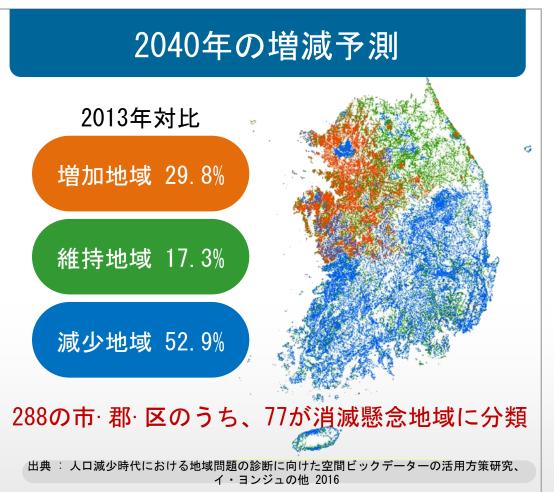
社会的弱者への配慮の増大



韓国の人口動向及び展望







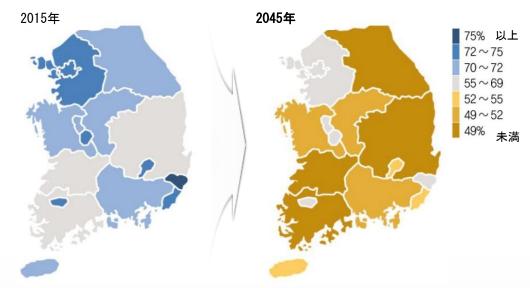
韓国の人口動向及び展望



【 新生児数及び死亡者数 (統計庁) 】

【 生産年齢人口の構成比の変化 (15~64歳人口基準/統計庁) 】





人口減少の 原因

経済的

子育て費用(保育費、私教育費の負担) 結婚・出産年齢層の雇用・所得の不安定

社会的

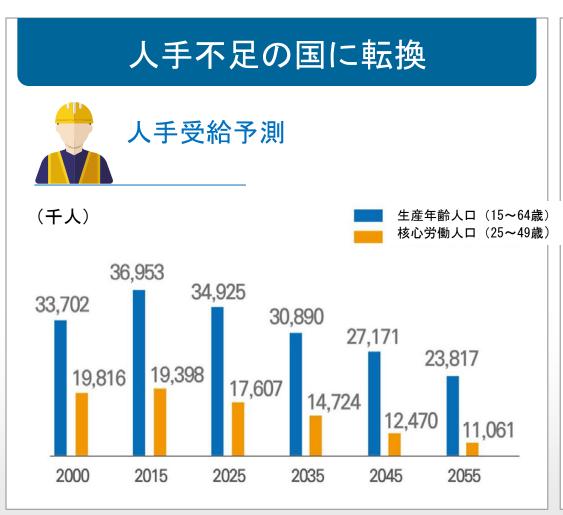
仕事・家庭の両立が難しい 良質の育児インフラ不足

価値観の変化

結婚観の弱化 子供観の変化

少子化の未来社会に対するリスク







少子化の未来社会に対するリスク



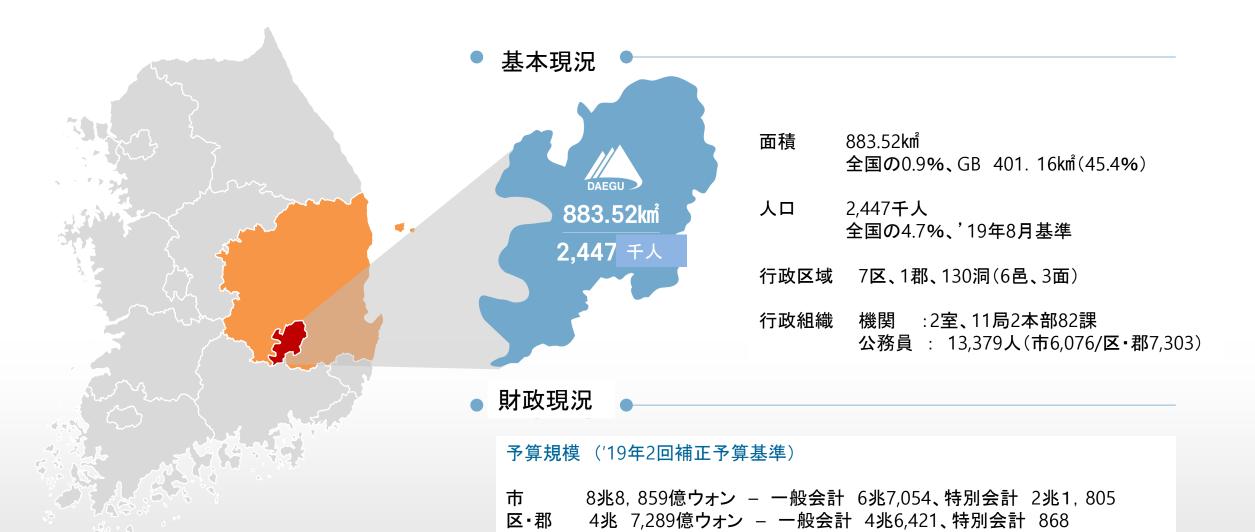












区•郡





■ 地域経済現況

経済活動人口 ('19年 8月)

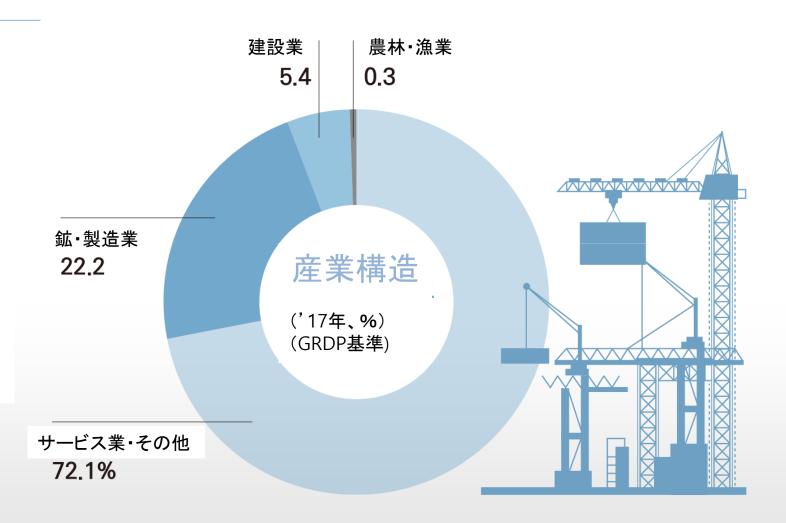
1,270千人 全国 28,216千人の4.5%

GRDP ('17年)

54兆 8,330億ウォン 全国 1,840兆 3,489億ウォンの2.97%

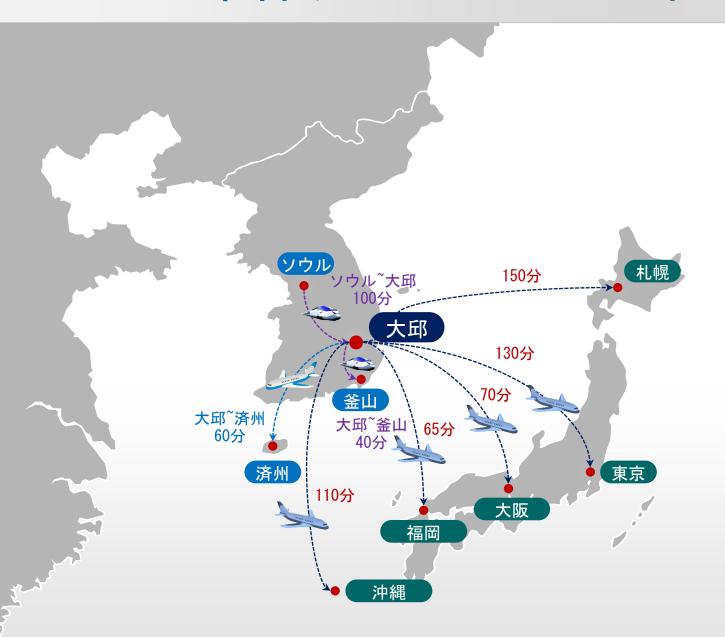
製造業者数 ('17年10人以上)

3,312 全国 69,458の4.8%



地理的条件及びアプローチ性







※ 2019. 10. 31. 現在大阪、札幌、沖縄路線は運休中



韓国産業化の心臓部



「韓国産業化の中心都市: 大邱 繊維、 亀尾 電子 科学、浦項 鉄鋼」

国内最大の繊維生産地

韓国型産業革命を主導

第一毛織、第一合繊、Kolon 甲乙紡織、韓一合繊、東国紡 織など



電子: 鉄鋼産業の中心地

輸出前進基地

三星、金星、大宇、浦項製鉄 テグァン電子、オリオン電気 Bexelなど

グローバル企業の発源地

1938年 三星商会(ビョルピョ麺)からスタート

精神文化と思想の都市



「大邱は韓国の歴史的な節目ごとに民族精神を高めた地域」

仏教

<u>華厳、和諍思想</u> (包容、他人の価値を認める)



儒教

生理学、官吏精神(三綱五倫、守るべき条理)



東学

人乃天 (人乃天**、人すなわち天なり**)



近代文化

護国精神、民主精神 (国債報償運動、2·28民主運動)



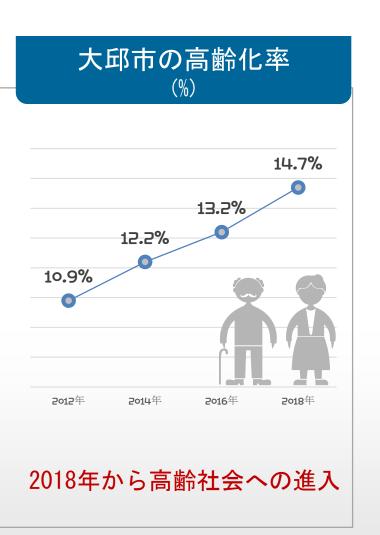


大邱市の人口構造の変化



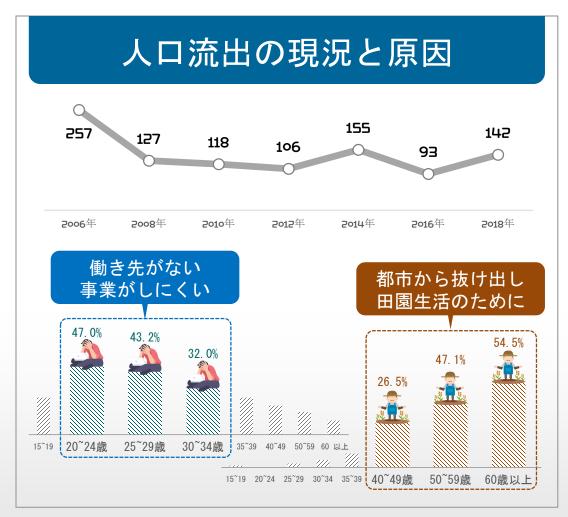


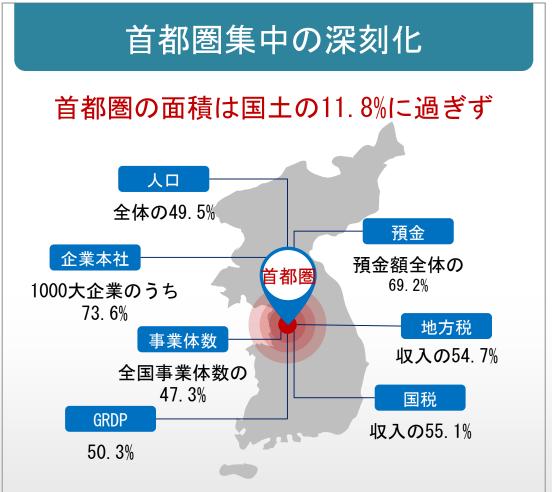




大邱市の人口流出現況

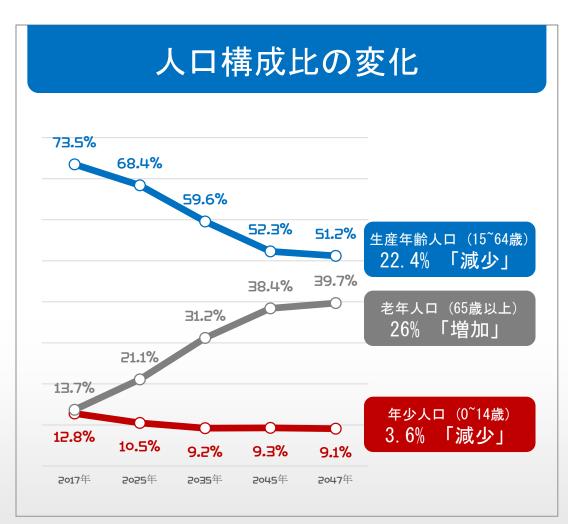


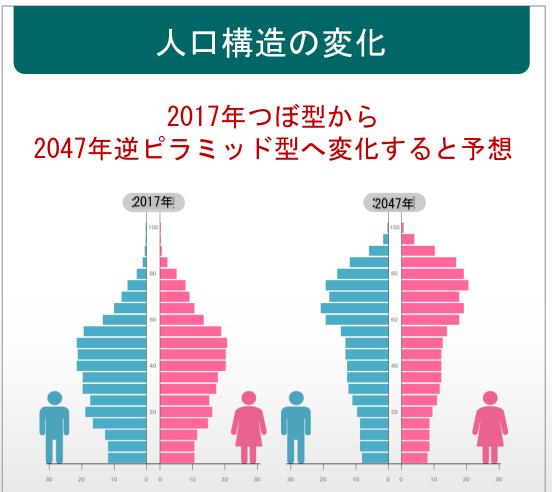




大邱市の人口構造の展望



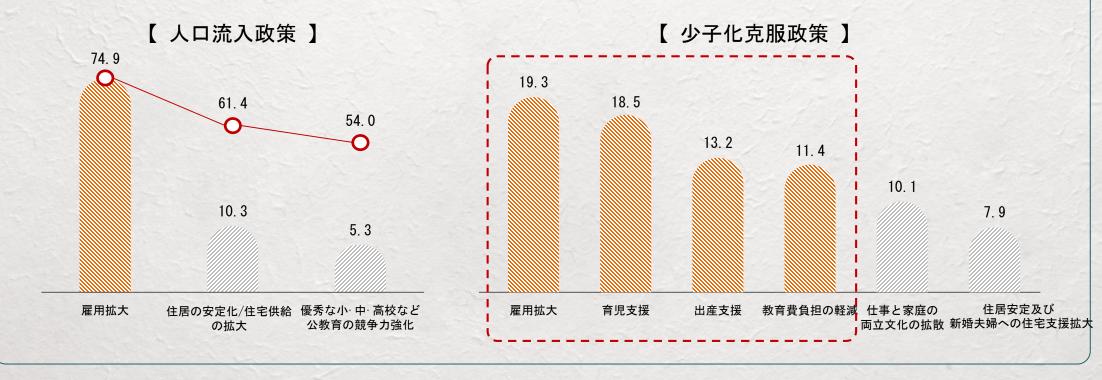




人口減少時代に対応した 大邱市の政策ビジョン

政策アンケート結果(専門家、公務員 400人を対象)

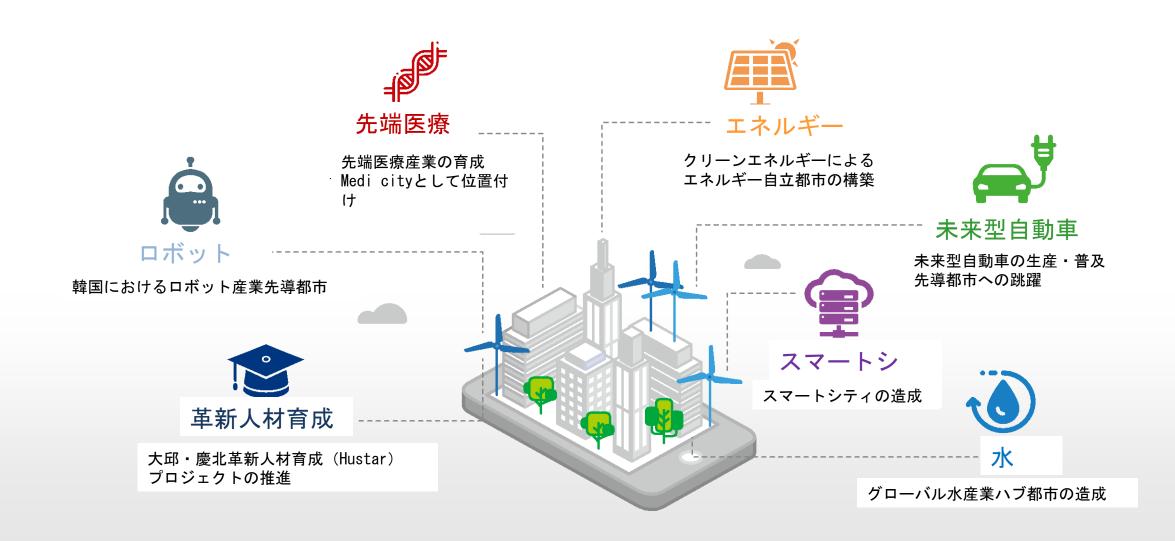
- ❖人口流入のために優先すべき政策 : 雇用拡大 74.9%
- ◆少子化を克服するために優先すべき政策 : 雇用拡大 > 育児支援 > 出産支援 > 教育費及び 仕事と家庭の両立



産業構造の革新と革新人材育成



未来の新成長産業の育成による雇用創出と革新人材の育成を通じた人的資源の普及



人口政策総合計画の樹立



出産奨励から全世帯の暮らしの質のために政策パラダイムを変化

人口流入の活性化



大邱市民づくり

良質の雇用基盤の拡充

魅力ある 都市環境づくり

少子化の克服



結婚及び出産環境づくり

お世話サービス及び子育て支援の強化

教育及び 仕事と家庭の両立支援

高齢化の ソフトランディング

50+ 人生二毛作 支援センターの設置

市場型 高齢者雇用の拡大

元気で健康な老後保障

人口変化の対応



人口構造 対応型産業育成

最適化した 都市空間づくり

ダウンサイジングに備えた 教育/行政システムの改革

市民参加の協治市政



市民の市政参加による地域懸案のニーズに取り組み、解決策を模索

住民参加の予算拡大







2019年

150

億ウォン

2019年 100



2014年 10

2019年 2. 436



2015年 821

2015年 73 億ウォン

市民円卓会議の開催

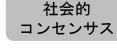


大邱市の

主な懸案









現場疎通市長室の運営







現場で聞き入れ、 答えを求める



問題解決

現場目線でみる

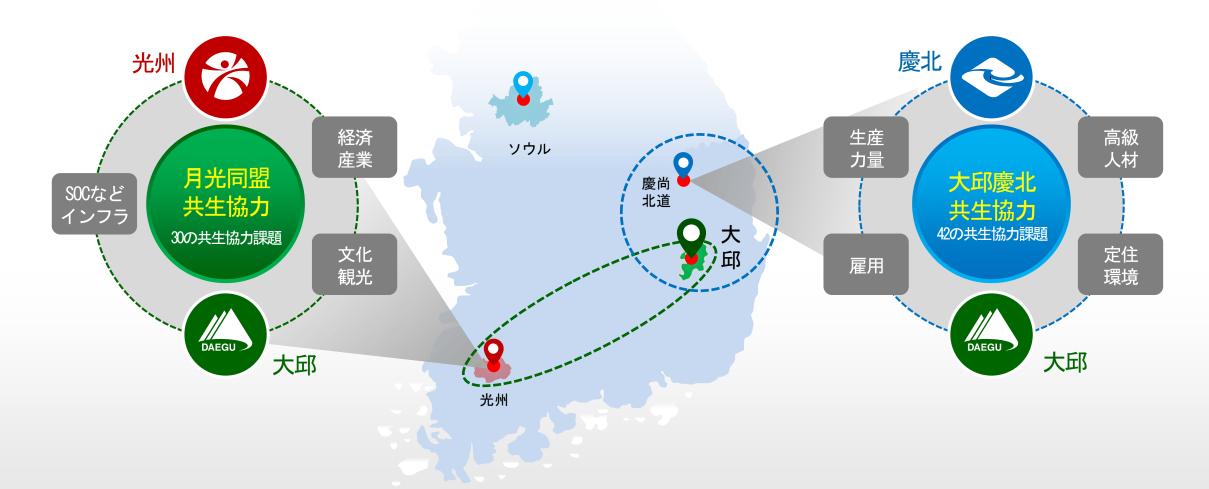
市民が直接参加する大規模の討論会 民生現場及びテーマ別現場疎通市長室の運営 「市民円卓会議」 ・計104ヵ所を訪問、懸案建議428件

- · 計17回開催
- ・市民円卓会議の定例化
- ・市民参加、疎通、協治のアイコンと して位置付け



広域協力による南部圏の経済コミュニティの構築で満れる

自治体間の共生協力事業の推進で首都圏の集中化に対応し、地域のバランスのとれた発展を実現



自治分権を通じた真の地方時代の実現



「地方自治実施から24年」、実質的な自治権は微弱



____ 現在国会に棚上げされている 地方分権関連の法律案の迅速な成立に向けた努力

自治警察制の導入

大学分権

事務移譲

中央地方協力会議 の設置

地方の力が国の力になる 分権の進んだ、バランスのとれた韓国の実現に向け努力

